



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	未就労者の農業への就職斡旋
Author(s)	TEAM引き分け（西部ゼミAチーム）
Relation	経済学部主催「第7回プレゼン・ディベート大会」 = The 7th Presentation & Debate Competition, School of Economics and Business Administration, 10月16日（土）. 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟, 札幌市.
Issue Date	2010-10-16
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/44362
Type	conference presentation
File Information	hikiwake.pdf



未就労者の農業への就職斡旋

TEAM引き分け(西部ゼミAチーム)

安部尚史 小倉泰輝

山畑拓也 久保田寛之 濱境小織



本案を導入すると・・・

- ❁ 農業生産・自給率が大幅に上昇
- ❁ 農家の後継者問題が解決
- ・・・農業の再生

さらに

- ❁ 雇用の創出による失業者の救済
- ❁ 日本経済全体の活性化

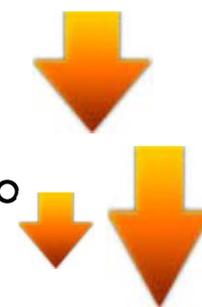
こんなにメリットがある！



北海道の農業が抱える問題

❁ 後継者不足

平均年齢が1975年で30代だったのに、
今は70代に
高齢者が多いと作業能率もダウン……。



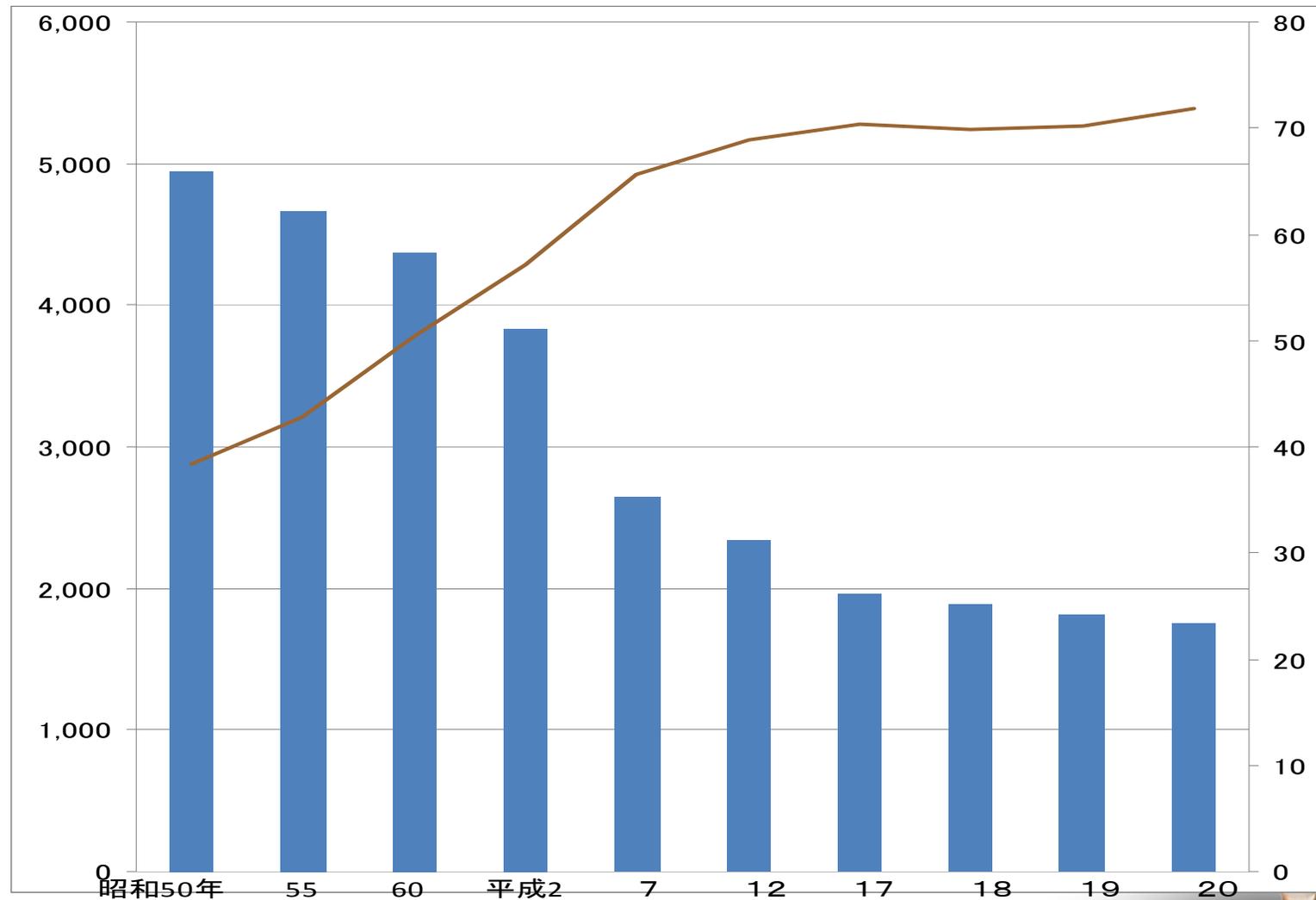
若者の農業離れ



30年余の遷移

棒グラフ: 従事者数(千人)

折れ線: 平均年齢

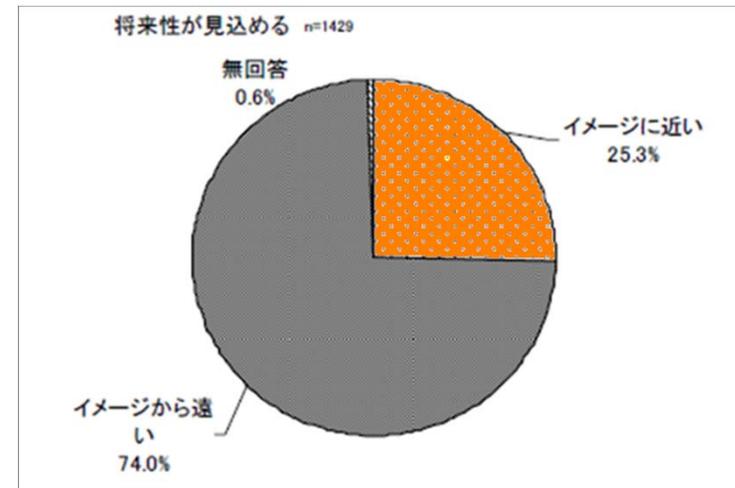
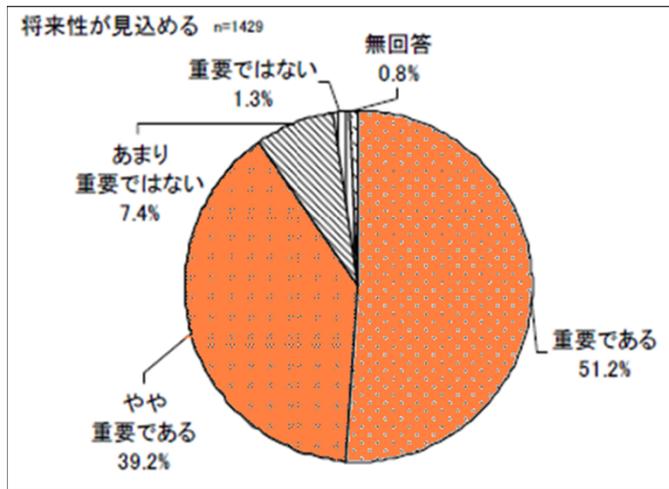


※農水省調べ(2008年)

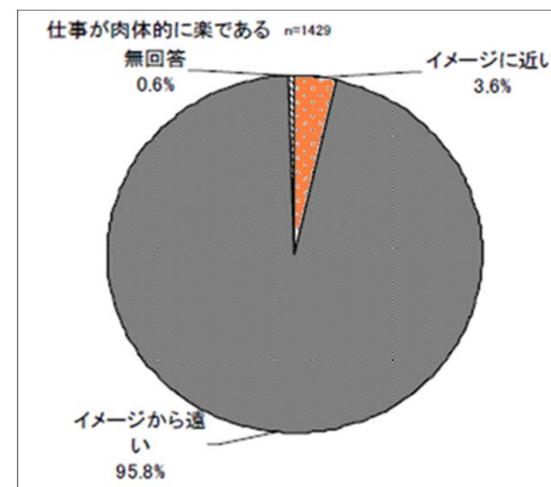
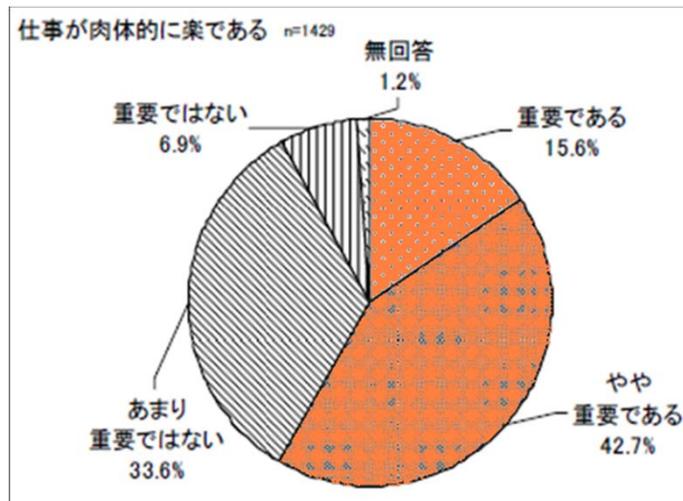


若者の仕事に関する価値観と農業へのイメージ

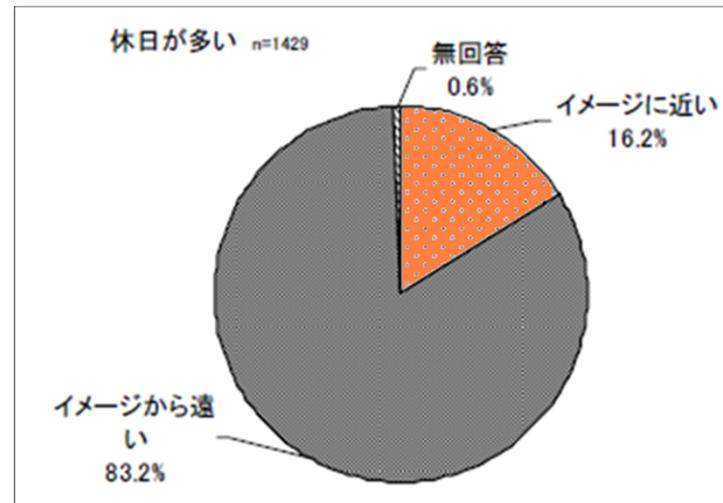
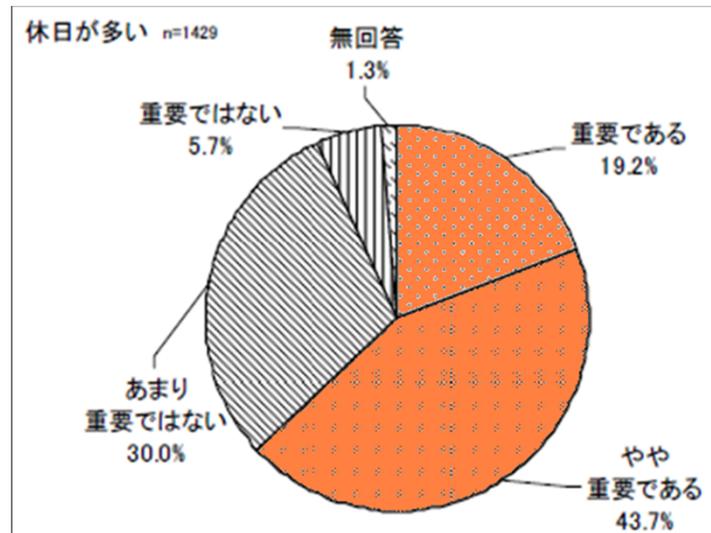
将来性が見込める



作業がきつい



休日が多い



出典:H19 収納調査研究事業報告書
「育て上げ」ネット

若者の仕事に関する価値観
と農業へのイメージには大きな
ギャップがある！

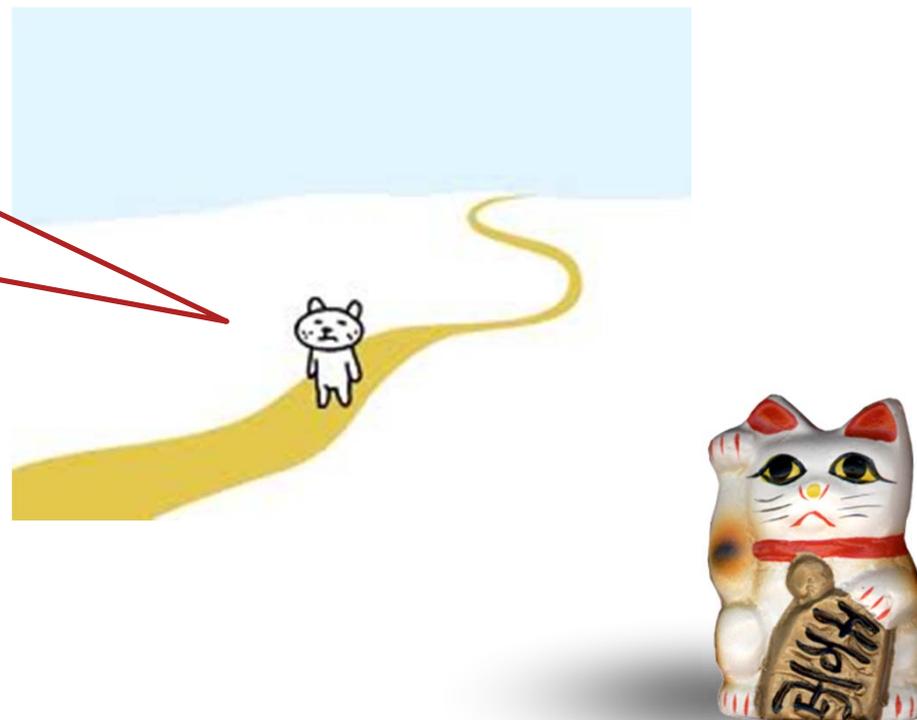


従事人口の挽回は可能なのか？

- ❁ 労働条件が厳しい以上、このままのイメージで今までどおりの募集を続けたところで就労人口を増やすのには限界がある

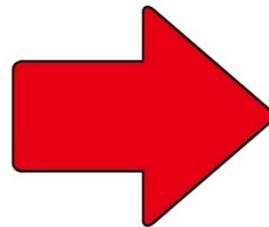
人が来ない……。

- ❁ ではどうするか？



推進案は・・・

- ❁ 農業限定の就職斡旋組織を立ち上げ、未就労者を受け入れて方々の農地に派遣
- ❁ 対象：ニート＋就職活動に失敗したまま卒業してしまった人＋失業者
年齢制限はなし。終身雇用も考える。



キャリアの上積み

- ❁ 農業系組織に斡旋して既卒就職がしやすくなるように仕向ける
- ❁ 熟練従事者は本州に派遣して日本全体の農業の発展に寄与させる
- ❁ スキルアップした後、独立の援助も



作業のきつさを軽減するには？

🌸 ワークシェアリングして一人の負担を減らす
⇒シフト制の導入

	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
A	ア	ア	ア		イ	イ	イ	イ	ウ										
B	ア	ア	ア	ア		イ	イ	イ	オ										
C				ア	イ	イ		イ	エ	エ	エ	エ							
D					ウ	イ	イ		エ	エ	エ	エ	ウ						
E										エ	エ	エ	オ			カ	カ	カ	カ

(8月の最も忙しい時期を想定)

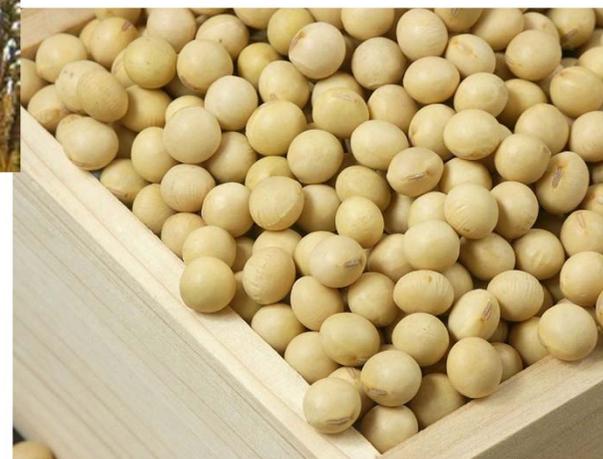
ア: 稲収穫 イ: 柿収穫 ウ: 片付け エ: 箱詰め オ: 畑の手入れ カ: 出荷

メンタルヘルスの改善,
やる気や働き甲斐の向上
農業関連の資格の取得など自己鍛錬に時間を割ける(普及指導員など)



自給率向上策

- ❁ 米以外の穀物(とうもろこし・麦・大豆)を新規開拓の農地で栽培
- ❁ これらの作物の過度な輸入依存からの脱却を目指す



結論

- ❁ 単に労働力として従事するのではなく、「農家」という生き方の指標になる
- ❁ キャリアを積んだ若者が独立し、経営範囲を広げることで2次的発展も見込める
- ❁ 失業者を農業に従事させることで失業問題と農業後継者問題の両方を同時に解決可能

農業再生！

